

vol.22

# SCK NEWS

認定看護師  
インタビューリー<sup>®</sup>  
《第15回》

## 手術はゴールじゃない 普通の暮らしに戻るためにできること

一看護師を目指したきっかけ  
はなぜですか？

野球選手になりたかったので  
すが、残念ながら狭き門でした。  
高校時代の監督から、男子校  
の養護教諭にならないかと勧  
められ「よし、教員として甲子  
園を目指そう！」と意気揚々、看  
護学部へ進学したものの、在  
学中に母校が共学になり、夢  
が途絶えてしまいまして。

母が看護師で、最初は同じ  
職業に就くことに対して抵抗  
がありました。野球で怪我をして  
手術をした時、男性の看護  
師が自分の気持ちを察するか  
のようなケアをしてくれたこと  
がとても印象深く、男性だから  
こそ担える役割もあるのでは  
サポートは本当に大切ですね。

いかと考るようになり、今  
となっては、すっかり母と同じ  
道を歩んでいます。

一今、力を入れて取り組んで  
いることは何ですか？

筑波大学附属病院では術前  
外来を開設していますが、手術  
室が運営を行っています。患者  
の手術が決まったその日に、術  
前外来で患者に会うようス  
タッフに指導しており、すみや  
かにアセスメントを行うこと  
で、手術のイメージをもら  
いやすくなります。さらに入院  
中に術前訪問を行えば、手術  
に対する不安は和らぎます。周  
術期における手術室看護師の  
サポートは本当に大切ですね。

ー

忘  
れ  
ら  
れ  
な  
い  
エ  
ピ  
ソ  
ー  
ド  
は  
?

東日本大震災発生直

後に災害派遣医療

チーム (D M A T :

Disaster Medical

Assistance Team)

の要請を受け、福島県

いわき市へ駆け付けま

した。現地の医療ニーズは

想定とは大きく異なり、3日間

かけて医師と避難所を回り、

薬も限られる中で救護活動に

努めました。目の前に広がる

悲惨な情景は忘れることがで

きません。

ー

若  
手  
看  
護  
師  
に  
向  
け  
て  
メ  
ッ  
セ  
ー  
ジ  
を  
お  
願  
い  
し  
ま  
す  
。

看護師には幅広く活躍の場が

あります。仲間の異動はつらい

ですが、様々な仕事へチャレン

ジすることは本人にとって良い

経験になりますし、病院にとっ

てもジェネラリストを増やすこ

とは大切だと思います。内心で

は、最後に手術室に戻ってきて

欲しいと願っていますけど。笑

(聞き手:陶守、谷)

第21回日本医療マネジメント学会学術総会 in 名古屋

## 今年のテーマは「働き方改革」

2019年7月19日・20日の  
2日間、第21回日本医療マネ  
ジメント学会学術総会（会  
場：名古屋国際会議場）が開  
催されました。今年のテーマ  
は、「私たちの働き方改革～  
良質で成熟した日本の医療  
をめざして～」。メインシンポ  
ジウム「医療を未来へつなぐ  
ために、医師の働き方改革  
改革では最も重要になる」と

述べられています。本会の参  
加者は、看護師の割合が  
48.8%と最も高い。(2018年  
度参加者データを参照)全国  
的にも経営・マネジメント分  
野における看護師の活躍は  
目覚ましく、医師の働き方改  
革に加え、看護師の役割拡大  
も欠かせないようです。  
(畠山)



Livedo Medical

株式会社リブドゥコ-ボレーション

《メディカル営業本部》  
〒164-0011  
東京都中央区中央1-38-1住友中野坂上ビル16F  
TEL:03-5338-5155／URL:<https://www.livedo.jp>  
発行日:2019年(令和元年)9月20日  
発行:メディカル営業本部

# SCK NEWS

vol.22

Livedo Medical

株式会社リブドゥコ-ボレーション

《メディカル営業本部》  
〒164-0011  
東京都中央区中央1-38-1住友中野坂上ビル16F  
TEL:03-5338-5155／URL:<https://www.livedo.jp>  
発行日:2019年(令和元年)9月20日  
発行:メディカル営業本部

## Interview

へんみ きみお  
邊見 公雄 氏

Profile



公益社団法人 全国自治体病院協議会 名誉会長

一般社団法人 全国公私病院連盟 会長

赤穂市民病院 名誉院長

特定非営利活動法人 地域医療・介護研究会JAPAN 会長

旧満州国 ジャムス生まれ、徳島県三好郡三野町（現：三好市）育ち。京都大学  
医学部卒業後、大和高田市立病院、京都大学医学部附属病院 第二外科を経て、  
赤穂市民病院に入職。同院 外科医長 及び 病院長に就任、現在は名誉院長を務める。一方、全国自治体病院協議会 名誉会長として全国の公立病院を励まし、  
「地域と住民に根差した理想的な医療・介護の提供」を理念に、特定非営利  
活動法人 地域医療・介護研究会JAPANを設立し、会長に就任。他、赤穂市の  
観光大使を務める等、医療を超えた幅広い分野で活躍中。

ー地域医療・介護研究会  
JAPANを立ち上げられた  
想いをお聞かせください。

本会を立ち上げた想いとしては、少子高齢化と人口の  
東京一極集中により、地方  
での暮らしを支える仕組みが  
不足していることに危機感を  
抱いたことです。歴史を遡れば、江戸時代より遙か昔から、  
我々の祖先はどんなに貧しくても、食う物食わずと子や  
孫には食わせ、着る物着んと  
て子達には着せ、その子達の

健康と成長を守って良い娘と  
教育を付けさせ、良い国(市)  
民を作っていました。その

お陰で、棚田を作る程狭い  
耕地で石油・石炭・鉄などの  
地下資源に恵まれないこの國  
が、広大な平野や国土、豊かな  
地下資源を持つ大国の、合  
衆国や旧ソ連（現ロシア等）  
とほぼ互角に世界で活躍出  
来たのです。医療と教育はこ  
の国の二本柱です。今後も、  
この豊かな暮らしを送るため

には、少子高齢化は深刻な問

題です。合計  
特殊出生率  
(19~49歳ま  
での女性の年  
齢別出生率を  
合計し、一人  
の女性が生涯  
に産む子供の  
数を推計した

が、現在では1.2まで下がっています。この課題に対して  
長期に亘る政策を打たなければ日本  
の人口は益々減少していく  
ります。フランスでは  
育児制度が充実しており、  
第一子は自助、第二子は共助  
(養育費は自助・教育費は  
公助)、第三子は公助である  
ことから、合計特殊出生率は  
2.0以上あります。一方、日本  
の地方に目を向けると、就職  
先は少なく、さらに東京一極  
集中であることから人口の  
偏りが生じ、病院などの  
医療機関もやむなく縮小  
せざるを得ない状況です。  
また、日本は貿易国である  
ため、都市や交通の要所に  
ある多くの企業を地方に  
移転させることは出来ま  
せん。そのため、次に重要な

なるのは農業や漁業などの  
一次産業です。なぜなら、  
和食は世界文化遺産に登録  
されており、を通じて和牛  
や米などの日本の良い  
ものを世界に提供していく  
価値があるからです。都市へ  
移住せずとも生まれた地で  
暮らしていく環境が整えば、  
良質な暮らしと医療の  
提供にも期待が持てます。  
その第一歩として、子ども達  
への食についての教育は  
重要です。現在、私は小学校  
～高校までの各学校にて食  
の文化を伝える授業を担当  
しています。地域医療・介護  
研究会JAPANの理念  
でもありますが、その地で  
生まれた人々が、その土地を  
良くし、暮らしていく  
仕組みを構築していきたい  
と思います。



### 一 赤穂市民病院 移転時のエピソードをお聞かせください。

赤穂市民病院が移転したのは平成10年2月11日です。移転時の思い出で印象的だったのは引っ越し作業なのですが、院内にはME機器等の大きな機械に加え、花瓶や棚等の細かな備品が結構ありました。当時は予算が充分に無く、また、近所での引っ越し業者もあまり無かったため、私自らが赤穂市の皆さんを対象に年賀状を送り、ボランティアを募りました。それも、「自転車やリアカーなど、どんな形でも良いので協力してほしい」

とのメッセージを添えて。(笑)すると、180名の方に集まっていたとき、何とか移転が完了したのですが、あの時の苦労は市民との一体感があり良い思い出ですね。

新病院が開院した当時のオープニングセレモニーでは、リンカーンの言葉にある「人民の人民による人民のための政治」に倣い、「市民の市民による市民のための病院」と提唱し、市民の誰もが集まる病院であることを皆さんにお伝えしました。

それは、患者としてでも良いし、お子さんの就職先として、或いは、病院見学

など、市民がいつでも利用して良い存在であることを説明しました。現在、私たち

は「患者さんを断らない病院」をモットーに医療に取り組んでおり、手術中により緊急対応が出来ないケースを除いて、過去最長7年間に渡り全ての患者さんを受入れています。「私たちが断ったら、患者さんは他へ行くところが無くなる」と言う気持ちで日々、治療に励んでいます。

(聞き手:林、西田、陶守、中村、矢野、畠山)

### 一若い世代へ向けてメッセージをお願いいたします。

「天は二物を与える」と

いう言葉を若い先生やスタッフにお伝えするようにしています。有名なエピソードですが、ノーベル賞を受賞された山中伸弥教授は、手術が苦手で整形外科医に向いていないと気づき、研究の道を選択した結果、iPS細胞(人工多能性幹細胞)の開発に成功されています。

若い世代の人たちも苦手なことに直面したら得意な分野を見つけて頑張って欲しいと思います。

CARE  
& CURE

## じょくそう 「褥瘡マネジメント加算」とは?

2018年の介護報酬の改定では、従来の報酬体系を見直しつつ合理化を行う内容となっています。今回はvol.21でご紹介した「排せつ支援加算」に引き続き、新設された「褥瘡マネジメント加算」についてご紹介します。

### 褥瘡マネジメント加算 取得イメージ

褥瘡発生に関する項目を定期的に評価

関連職種と協働し、  
褥瘡ケア計画の作成・褥瘡管理の実施

褥瘡マネジメント加算10単位/月  
※3ヶ月に1回を限度として加算

「褥瘡マネジメント加算」の内容としては、「褥瘡の発生予防に関するプロセス評価」となっています。今回はvol.21でご紹介した「排せつ支援加算」に引き続き、新設された「褥瘡マネジメント加算」についてご紹介します。

参考文献:厚生労働省「平成30年度介護報酬改定の主な事項について」

## About

特定非営利活動法人

地域医療・介護研究会JAPAN -Local Medical Care-

### 理念 Philosophy

我々は現在、任意で開催している勉強会を通じて情報提供や情報共有の機会を持っており、広い地域に散在している病院間及び医師間の連携、団結に役立っています。更には、行政や介護施設との他職種協働にも寄与しております。選択と集中による各地の「ミニ東京」ではなく地域が主体となる医療・介護を提唱し、大きな単位で集約されたマクロな情報から個々収集し集約した出来的限りミクロな情報を活用することのできる環境づくりを目的として、医療・介護の現場で最新かつ最良の情報を提供できるようになると、及び医療・介護の現場における最新の情報が当該団体に提供されるようになる仕組みが出来上がり、その地域と住民に根差した理想的な医療・介護の提供を実現できます。つきましては、発起人を含め、医療介護従事

### 活動 Activity

1. 地域医療・介護の充実のための連携支援活動
2. 「地域」の医療と介護を守るための情報発信
3. 教育機関への出前授業
4. 人材のマッチング支援活動
5. 住民を巻き込んだ地域ネットワークの再生
6. これからの医療・介護に資する研究活動
7. 医療・介護運営に関するよろず相談
8. 医療安全いろはカルタ、介護安全いろはカルタ、地域医療・介護に関する出版活動

TOPIC

## ディーマット 「DMAT」を知る

災害派遣医療チーム(DMAT: Disaster Medical Assistance Team)とは災害時に一人でも多くの命を救うために災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チームです。専門的な訓練を受けた医師・看護師等から構成され、現在は全国で1,600を超えるチームがあり、年々増加しています。

DMATは阪神・淡路大震災を機に設立し、重傷者への急性期医療を中心に防ぎ得た災害死を救うことに貢献してきました。しかし、東日本大震災では慢性疾患のケア等が中心で、従来の活動と異なった医療活動を要求されることとなり、現地の医療ニーズとのマッチングが課題となりました。

今後危惧される大型地震や広域被害を想定したDMATの養成が必要とされており、活動要領や研修内容の見直しが行われています。(谷)

参考文献:厚生労働省「平成30年度行政事業レビューシート」  
土木学会論文集  
「急性期災害医療におけるDMAT配置モデルにおける考察」

NURSE

### ピッキング支援ツール

## ナビスコープ NAVISCOPEへの関心高まる

2019年7月19日・20日に開催された、第21回日本医療マネジメント学会学術総会協賛ランチョンセミナー及び展示ブースにて、リブドウは、ピッキング支援ツール「NAVISCOPE」を披露しました。同製品はメガネ型のウェアラブル端末にピッキング情報を表示し、リストバンド型のバーコードリーダーで製品情報を読み取ることができます。専門知識の無い人でも、操作を覚えるだけでピッキング業務に従事することができるため、会場には、院長や病院経営層が詰めかけ、働き方改革の施策として移転時や設備導入に向けて検討したいとの声が寄せられました。(畠山)

